

京都大学大学院教育学研究科附属臨床教育実践研究センター主催

公開講座

手で夢見ること—トラウマ治療において、箱庭療法はどのように作用するのか—

Dreaming with the Hands

—How Sandplay Therapy Works in the Treatment of Trauma—

アレクサンダー エスターホイゼン

講師：Alexander Esterhuyzen

(京都大学大学院教育学研究科客員教授/ユング派分析家)

通訳：名取 琢自 (京都文教大学臨床心理学部教授)

司会：田中 康裕 (京都大学大学院教育学研究科教授)

挨拶：松下 姫歌 (京都大学大学院教育学研究科教授・附属臨床教育実践研究センター長)

日時：2023年11月5日(日) 13時～16時(12時半受付開始)

会場：キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室

(京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」より徒歩5分)

対象：市民一般、心理臨床専門家、教育関係者

受講料：3,500円

定員：100名(先着順)

アレクサンダー・エスターホイゼン先生は、ユング派(分析心理学)の開業心理療法家であり、箱庭療法および心理療法の学問的・実践的発展に精力的に尽力され、国際箱庭療法学会(ISST)会長を務められた、国際的に活躍されている先生です。これまでロンドン大学セント・ジョージ校上級講師、イギリスの複数の公的医療機関における医療諮問委員会の主任等を歴任され、重度のパーソナリティ障害を抱える患者の治療および医療従事者の指導と訓練に従事するなど、豊かな臨床経験とスーパーバイザー経験をお持ちです。優れた分析家・心理療法家および指導者として高く評価され、国際分析心理学会 (IAAP) や国際箱庭療法学 (ISST) における各種大会等において数多くの講演をなさっており、ユング心理学・箱庭療法学を理論面・実践面を牽引し続けておられます。本講座では、複雑性発達トラウマに焦点を当て、子どもの発達と安定した自己感の形成における身体的、心理学的、神経学的影響についてお話いただきます。そして、なぜ箱庭療法が複雑性発達トラウマの治療において重要な役割を果たすのかについて探求していきます。今回は、京都文教大学教授で国際箱庭療法学会の現会長でもあられる名取琢自先生に、逐次通訳、解説をしていただきます。是非ご参加ください。

申込方法：教育学研究科ウェブページ (<https://www.educ.kyoto-u.ac.jp/news/post-12224/>)

もしくは申込フォームQRコードよりお申込みください。

申込締切日：2023年10月6日(金) 先着順。定員になり次第締め切ります。

受講決定通知および受講料支払い方法：

10月中旬にメールにて受講決定通知、受講料の振込方法を案内いたします。

案内をお受け取り次第、受講料を銀行振り込みにてお支払いください。

振込期日は10月下旬になります、期日厳守でお願いいたします。

なお、入金後の返金はいたしかねますので、予めご了承ください。

※悪天候や感染症流行等により開催中止となる場合もございます。

その場合は、10月下旬頃までに教育学研究科ウェブページ上でお知らせ致します。



申込フォームQRコード

問合せ先：京都大学大学院教育学研究科附属臨床教育実践研究センター 「公開講座」係

Tel：075-753-3052 E-mail: 020clpsycenter@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp